授業科目　相談援助各論Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
河野　聖夫	開講時期	前期	必修･選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：GIO】
相談援助やソーシャルワークの実践過程を、ジェネリックな視点から理解することによって、どのように適用するかを考察する。テキストや事例を通じて、相談援助の実践過程を踏まえながら学習する。また、特に社会福祉における相談援助実践の理論と方法を、実践事例による学習を通じて習得していく。

【学習目標・行動目標：SBO】
１相談援助における人間と環境との交互作用に関する理論を理解する。
２社会福祉専門職における相談援助と援助関係について理解する。
３相談援助の実践過程とそれに係る知識と技術について理解する。
４相談援助としての様々な実践内容・方法についてその基礎を学び、習得する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		第１章相談援助とは
2	ソーシャルワークの構造		第２章第１節
3	ライフニーズへの視点		第２章第２節
4	ソーシャルワークの実践機能		第２章第３節
5	ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点		配布資料
6	人間と環境の交互作用　クライエントシステム		第３章
7	人間と環境の交互作用　支援システム		第３章
8	人間と環境との交互作用　基礎理論		第３章
9	ソーシャルワーク関係		第４章第１・２節
10	相談援助における援助関係のシステム		第４章第３節
11	相談援助における専門職の姿勢と位置		第４章第４・５節
12	相談援助のための面接技術		第12章
13	相談援助面接の展開		第12章
14	相談援助における原理・原則と実践		配布資料
15	まとめ		考察　振り返り

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	７相談援助の理論と方法Ⅰ	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2,600円・新年度版
参考書	ソーシャル・ケース・ワークとは何か	メアリー・E.リッチモンド著/小松源助訳	中央法規	1991
	ケースワークの原則：援助関係を形成する技法,新訳改訂版		誠信書房	2006
	新版　社会福祉援助技術	佐藤豊道編著	建帛社	2004・2,100円
その他の資料				

【評価方法】
定期試験　授業内ワークシート提出

【履修上の留意点】
予習と復習